

TRADE MARK



カルミン頭痛歯痛

第2類医薬品

【効能・効果】

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱



【成分・分量】1日量(2包)中
アセトアミノフェン…600mg
エテンザミド ……500mg
無水カフェイン ……100mg

添加物として、ステアリン酸Mg、ヒドロキシプロピルセルロース、トウモロコシデンプン、セルロース、乳糖を含有する。

【用法・用量】

15歳以上 ……………1回 1包
11歳以上15歳未満 ……1回 2/3包
7歳以上11歳未満 ……1回 1/2包
3歳以上7歳未満 ……1回 1/3包
3歳未満は服用しないこと。
1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。服用間隔は6時間以上おくこと。
*小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

2包入 ￥200.

製造販売元 大峰堂薬品工業株式会社
奈良県大和高田市市根成柿574

お問い合わせ先 消費者相談窓口 電話 0745-22-3601
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

❌ してはいけないこと

⚠️《使用上の注意》 解熱鎮痛薬

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1.次の人は服用しないこと (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2.本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬 3.服用前後は飲酒しないこと 4.長期連用しないこと



相談すること

1.次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザににかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(4)高齢者。(5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6)次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2.服用後、右記の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この袋を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。

その場合は直ちに医師の診療を受けること。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステvens・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3.5〜6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この袋を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

副作用被害救済制度
電話 0120-149-931

配置期限 2019.8 CFE
2包入(1包0.9g×2) ¥200.

奈良9-129-2巻 AS-14A



外袋